



48V バッテリー 取外し・回収マニュアル

対象車種

モデル	型式
Alfa Romeo Tonale MHEV	3AA-AV115

作業前の注意事項

警告

エレクトリカル・システム (コネクタ、電装コンポーネント、配線など) の作業前には、バッテリーを切り離すこと。

バッテリーの端子を切り離す際は、必ずイグニッションを OFF にする。イグニッションが ON のときやエンジンが作動しているときは、絶対に切り離してはならない。バッテリー端子は、イグニッションを OFF にしてから少なくとも 2 分後に切り離す必要がある。

電装および電子構成部品に重大な損傷を与えないため、バッテリー・アース・リードが緩んでいる状態では決してエンジンを始動させてはならない。

リード線や配線を強く引っ張ってはならない。コネクタや端子からケーブルが外れるおそれがある。

ボディでアーク溶接作業を行うときは、コントロール・ユニットおよび電動装置をすべて切り離すこと。

ヒューズを交換する前に、保護対象の回路が故障していないか確認する。

ヒューズを交換するときは、新しいヒューズが適切なアンペアであることを確認する。規定より大きい、あるいは小さいアンペアのヒューズは使わないこと。

警告：

- ・ 取り外しや取り付けの際、電気ケーブルやクーラント・パイプを曲げたり、引っ張ったりして破損しないように注意する。
- ・ ボディのスタッドが損傷しないように、電動スクリュ・ドライバは使用しないこと。
- ・ 48V バッテリー・パックは、保護用絶縁手袋を着用することで、あらゆる箇所に触れることができる。電気コネクタとクーラントの入口と出口のコネクタは絶対に金属材料と接触させないこと。衝撃や汚染を避ける。ケーブルやチューブを使って構成部品を移動させてはならない。48V バッテリー・パックには、図に示されている持ち上げる箇所と取り扱いのための特定箇所がある。他の接点は、取り扱いや取り外しに使用できない。
- ・ バッテリー内の電解液は汚染物質であり、可燃性物質でもある。バッテリーを適切に廃棄しないと、火災の原因になったり、環境を汚染したりすることがある。
- ・ 激しい衝撃や事故の結果、車両の下部 (アンダーボディ) に衝撃を受けた場合は、資格を持った技術者にバッテリーの点検を依頼する。

注意

電装構成部品に関する作業を行う場合は、以下の注意事項を必ず厳守すること。

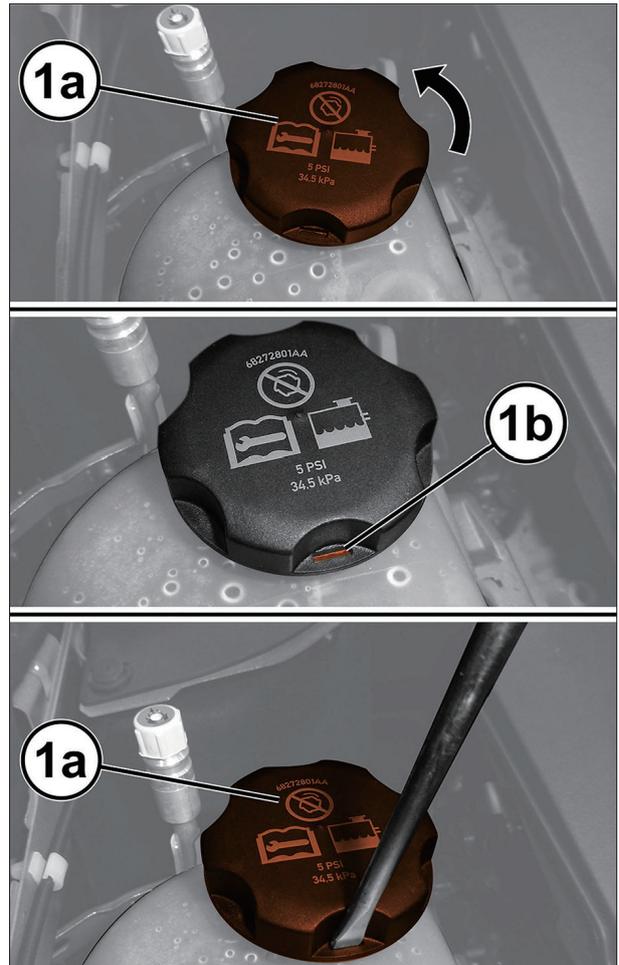
- ・ 指輪や腕時計などの金属製品を外す。
- ・ 電気アークに注意すること。バッテリーは電圧が 48V であっても短絡すると高電流が流れ、整備士にとって危険な、あるいは火災の原因となるアークやスパークが発生することがある。
- ・ 高電圧に注意する。電子イグニッション・システムは電圧が 20,000V 以上となり非常に危険となることがある。これらの構成部品やその付近で作業をするときは、十分に注意する。
- ・ 火災を予防する。作動中に熱くなるバッテリーや構成部品 (たとえばハロゲン・ランプ) の付近、あるいはエンジンがまだ熱いときにエンジン・ルーム内で作業するときは、喫煙してはならない。

注意：

- ・ 認定された使用期限の切れていないゴム製の保護ゴーグル/バイザーと絶縁手袋を使用してバッテリーを取り扱う。
- ・ 車両の帯電部には、安全警告を記したプレートが貼られている。
- ・ バッテリーを廃棄する場合は、現行の規制に従う。

クーラントの抜き取り

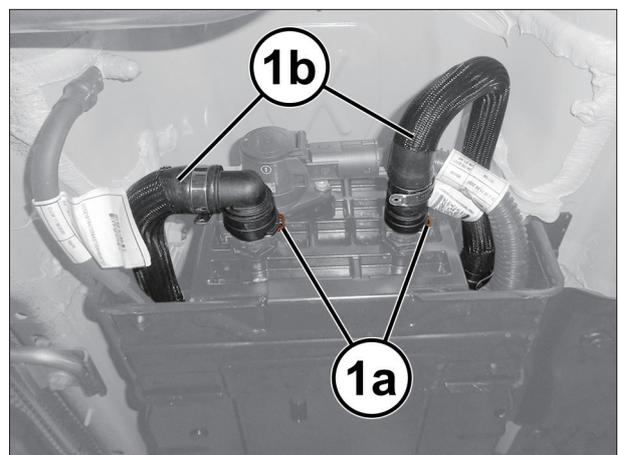
1. エンジンが冷えた状態で、補助タンク・キャップ (1a) の上部を回し、穴 (1b) を合わせる。穴 (1b) に適当なスクレイドライバを差し込み、キャップ (1a) を回して取り外す。



警告：

エンジンが暖まっているときは火傷の危険があるため、タンクのキャップは外さない。

2. 車両をリフトに載せる。
3. プロテクタ/エンジン下部ガードを取り外す。
4. クリップ (1a) を引き戻して、48V バッテリー・システムのリジッド・クーラント・パイプのクイック・カップリング (1b) を切り離し、クーラントを排出させる。



注意：

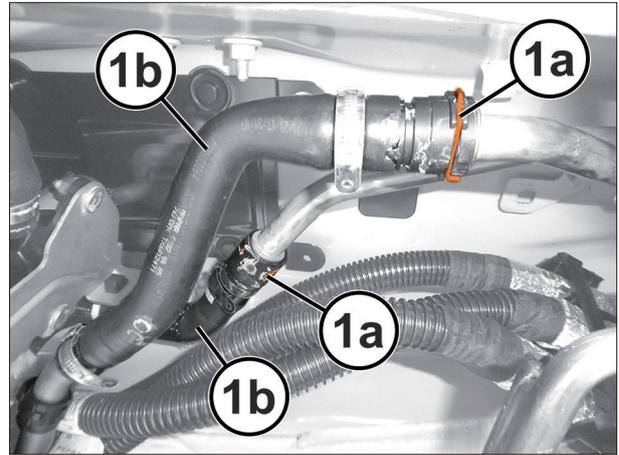
クーラントを適切な容器に回収する。

48V バッテリの取り外し

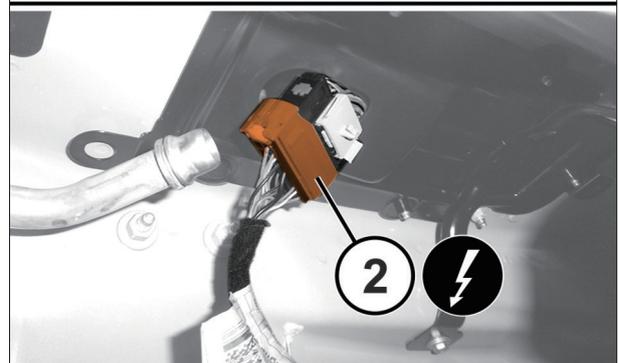
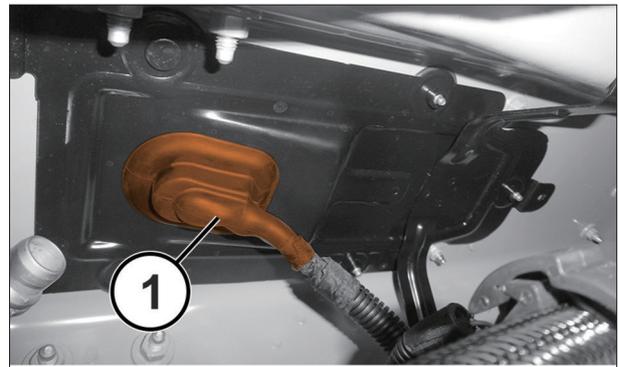
注意：

認定された使用期限の切れていないゴム製の保護ゴーグル/バイザーと絶縁手袋を使用してバッテリーを取り扱う。

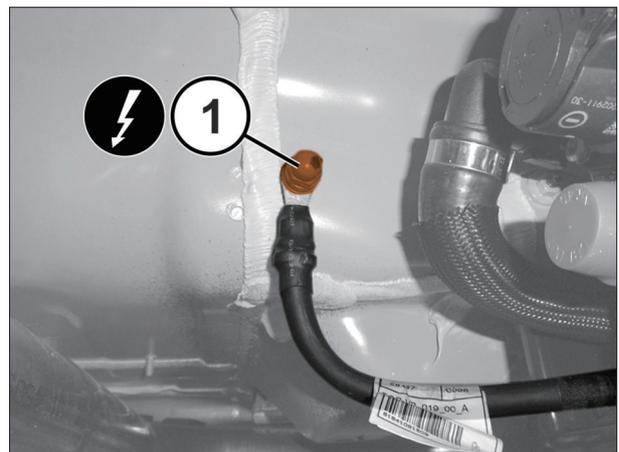
1. クリップ (1a) を持ち上げ、クーラント・リターン供給パイプのクイック・カップリング (1b) を 48V バッテリ、48V バッテリ低温システム・クーラント・デュプレックス・パイプ側で外す。



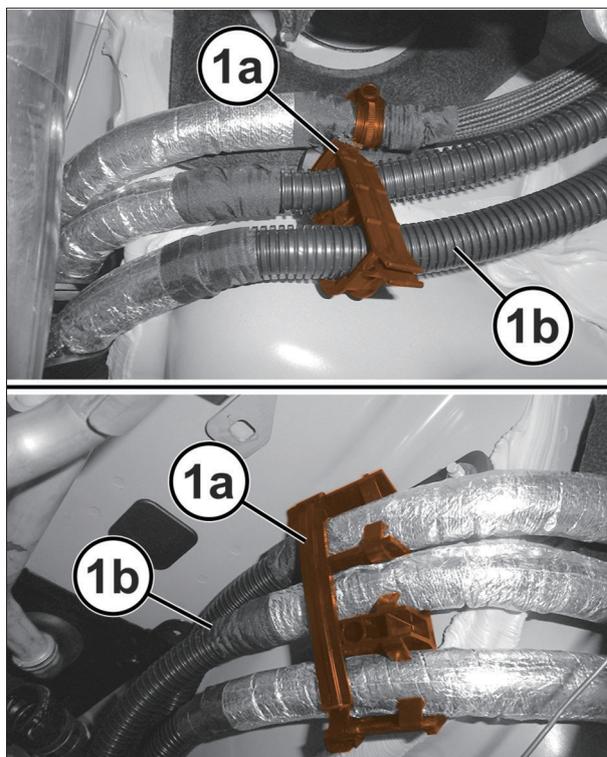
2. バルクヘッド・ガスケット (1) を取り外す。
3. アンダ・ボディからコネクタを切り離し、バッテリー・カップリングのコネクタ (2) を外す。



4. ナットを緩め、アースをボディから切り離す。

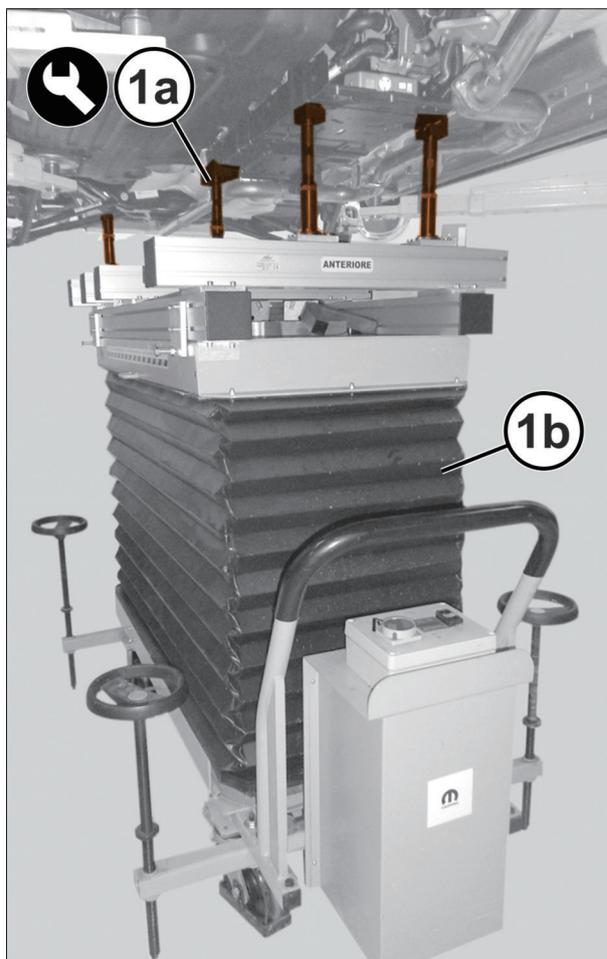


5. リテーニング・クリップ (1a) を開き、バッテリー配線 (1b) を外す。

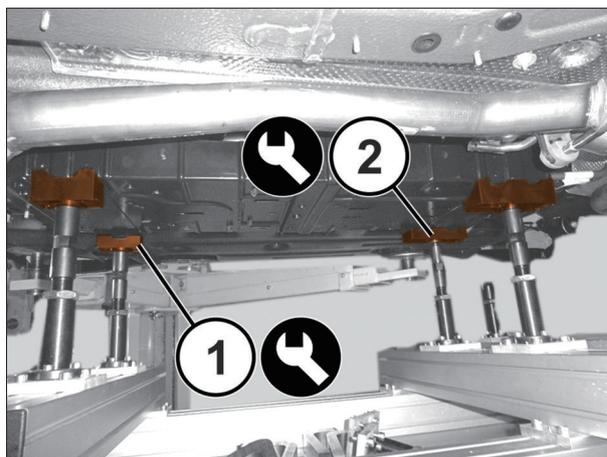


工具	名称	機能
2070200080	ユニバーサル・バッテリー・クレードル	48V バッテリーの脱着
2070201080	サポート・マウント	48V バッテリーの取り外し / 取り付け

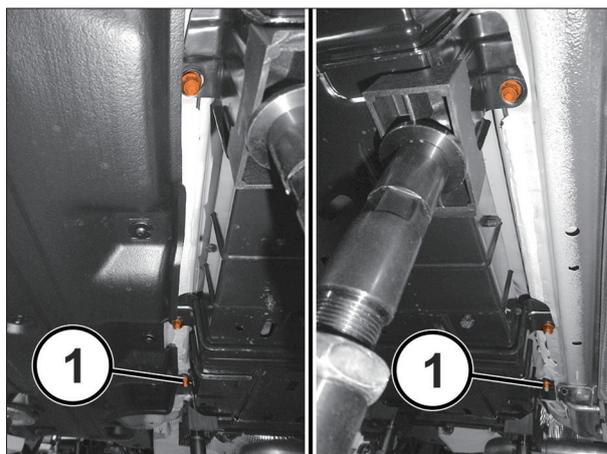
6. ユニバーサル・バッテリー・クレードルを適切な油圧リフト (1b) に取り付け、図に示す位置にサポート・マウント (1a) を位置決めして、48V バッテリー・アセンブリを支える。



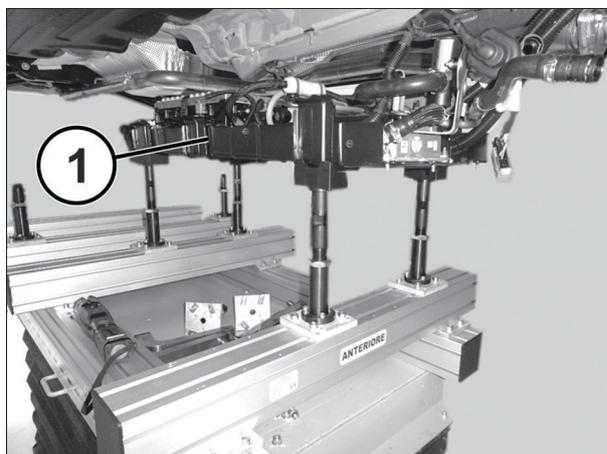
7. フロント・エリアにサポート・パッド (1) を配置する。
8. リア・エリアにサポート・パッド (2) を配置する。



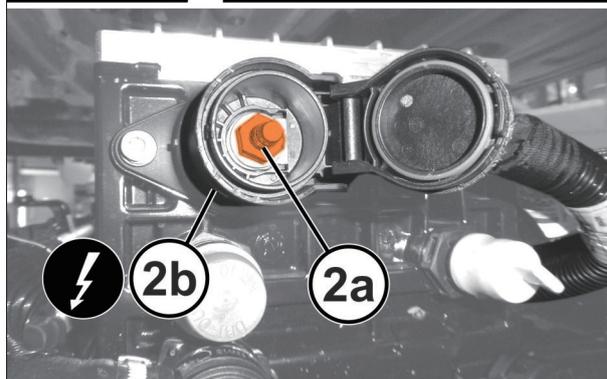
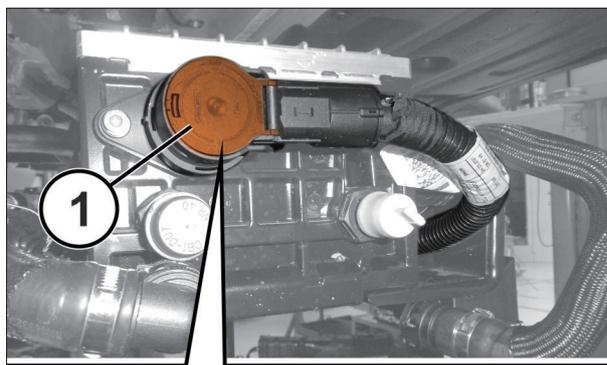
9. 48V バッテリー・アセンブリのサイド固定ナット (1) を外す。



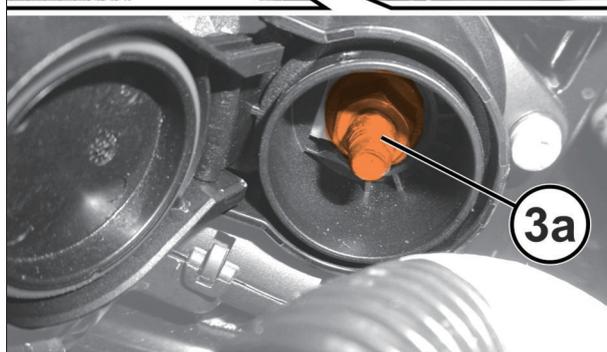
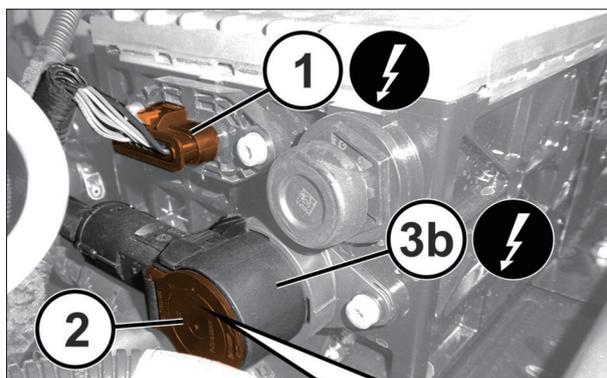
10. 油圧リフトを下げ、48V バッテリー・アセンブリ (1) を脇に移動させる。



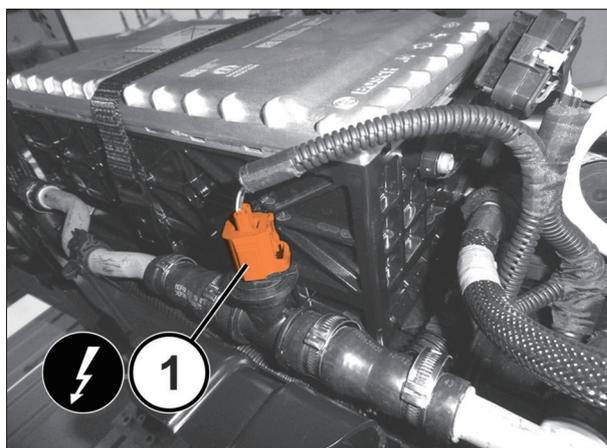
11. 48V バッテリーのマイナス・ポスト・コネクタ・カバー (1) を開く。
12. 固定ナット (2a) を緩め、マイナス・ポスト・コネクタ (2b) を取り外す。



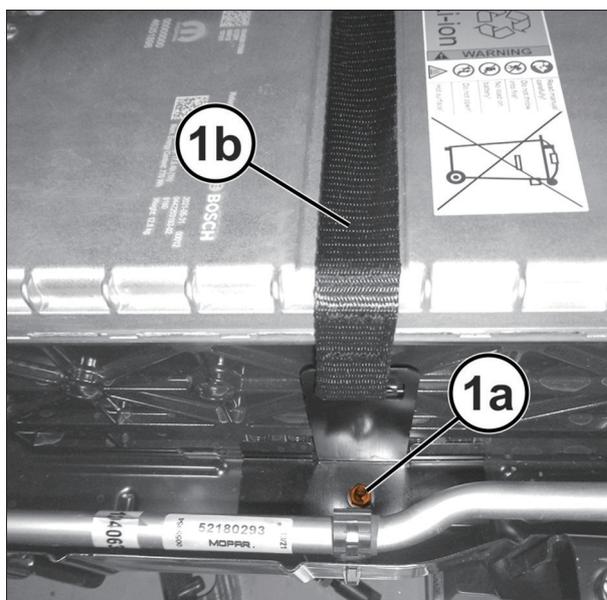
13. 48V バッテリー信号コネクタ (1) の電気接続を切り離す。
14. 48V バッテリーのプラス・ポスト・コネクタ・カバー (2) を開く。
15. 固定ナット(3a)を緩め、48Vバッテリー・プラス・ポスト・コネクタ (3b) を取り外す。



16. エア温度センサの接続を切り離す。



17. 固定ナット (1a) を緩め、48V バッテリーを固定するベルト (1b) を取り外す。



18. バッテリー・リテーニング・ブラケットを固定しているナット (1) を緩める。

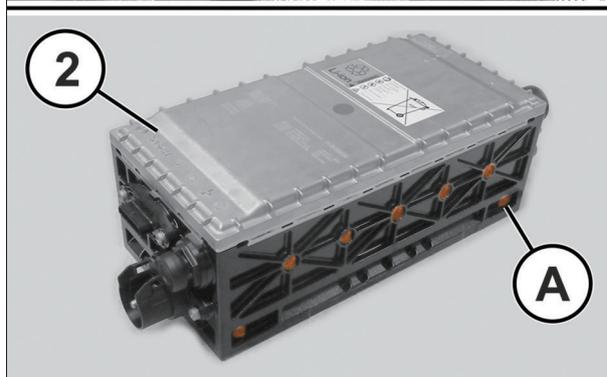
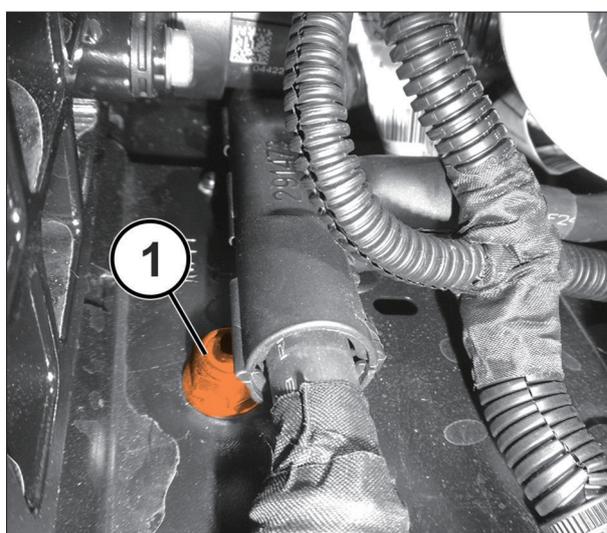
19. 48V バッテリーを取り外す。

警告：

48V バッテリー・パック (2) は、保護用絶縁手袋を着用することで、あらゆる箇所に触れることができる。

絶対に、電気コネクタとクーラントの入口と出口が金属材料と接触したり、衝突や汚染させたり、または作業するために使用したりしないこと。

48V バッテリーには、図に示されている持ち上げる箇所と取扱いのための特定箇所 (A) がある。取り扱いやパッケージからの取り外しに他の箇所は使用しないこと。



48V バッテリーの梱包

1. 回収日時確定後、引取依頼システムから『取扱注意書』を印刷して、バッテリー上面に貼付する。
2. バッテリーは、運送会社の持参する段ボールに裸の状態解体事業者が格納し、運送会社へ引き渡す。

問い合わせ先

取り外し作業に関する問い合わせ先

Stellantisジャパン株式会社 Alfa Contact : 0120-779-159
受付時間 : 9:00 ~ 21:00 年中無休
<https://www.alfaromeo-jp.com/recycle/>

取り外した 48V バッテリー・パックの回収依頼先

< LiB 回収受付窓口 >

取り外したリチウムイオンバッテリーは、自動車再資源化協力機構（自再協）の引取依頼システムより回収を依頼してください。

⇒リチウムイオンバッテリー（LiB）引取依頼システム(<https://www.lib-jarp.org/>)

< LiB 回収、引き取り依頼についての事務的な問い合わせ先 >

自動車再資源化協力機構（自再協） - JARP

LiB 回収グループ

info-libsystem@jarp.org

0570-000-994【平日 9:00 ~ 17:00（年末年始及び土日祝祭日を除く）】